

# 「岩手の働き方改革」の現在地

アンコンシャス・バイアス

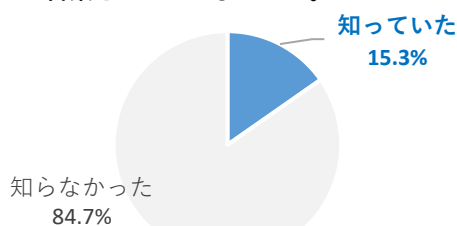
岩手県で設置する「いわて働き方改革サポートデスク（ジョブカフェいわて内）」では、岩手県内の企業や事業所が「働き方改革」に取り組むための支援を行っています。今年度から働き方改革の取組テーマに「アンコンシャス・バイアス」が追加になりました。皆さんの身のまわりに、無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）と思われるようなことがあるかどうかを調べるため、岩手県で働いている方を対象に現在アンケートを実施しています。今回は、11月中旬時点での経過についてご紹介します。

## 01 「アンコンシャス・バイアス」の知名度は2割を下回る！？

みなさまは、「アンコンシャス・バイアス」という言葉を聞いたことがありますか？  
「アンコンシャス・バイアス（無意識の思いこみ）」とは、自分は気づかぬうちに抱いている思い込みや先入観のことです。この「アンコンシャス・バイアス」にまず自分で気づくことが、組織全体の成長とより働きやすい職場づくりの一步となります。



Q 「アンコンシャス・バイアス」という言葉を知っていましたか。



令和7年度「アンコンシャスバイアス・ジェンダーギャップアンケートより」（n=1,262人）

相互理解を妨げるアンコンシャス・バイアス

若手は自分の意見を言わない

女性には優しく男性には厳しく

ハラスメントにつながるアンコンシャス・バイアス

男性が育休を取得することを責める

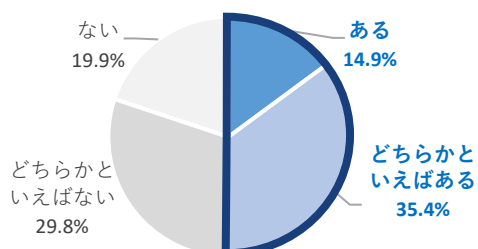
お茶くみは女性の仕事と言う

## 02 アンコンシャス・バイアスを身近で感じた割合は約5割！

みなさまは、実際に職場で「アンコンシャス・バイアス」を感じたことはありますか？  
今回のアンケートでは、約半数が身近に感じていると回答しています。  
自分では気づきにくい「アンコンシャス・バイアス」。知らず知らずのうちに、自分の判断や行動が職場での人間関係や環境に影響を及ぼしているかもしれません。



Q あなたが身近でアンコンシャス・バイアスを感じる機会がありますか。



令和7年度「アンコンシャスバイアス・ジェンダーギャップアンケートより」（n=1,262人）

育児・家庭事情に関するアンコンシャス・バイアス

- ・男性で育児休暇を取得するのは出世欲がない
- ・子どものことで父親が休むことが良く思われない
- ・子どもが小学生になったので、もう手がかからないだろうと言われる

時間外労働に関するアンコンシャス・バイアス

- ・定時で帰ると後ろ指をさされる
- ・残業/休日出勤をする人＝やる気がある人というイメージがある
- ・上司は、残業している部下がいる時は残業しなければならない。

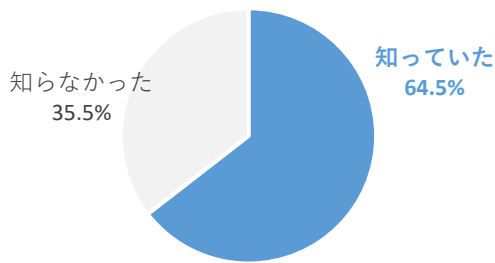
## 03

「ジェンダー・ギャップ」と  
「アンコンシャス・バイアス」の関係は？

職場におけるジェンダー・ギャップは、機会の不平等だけではありません。根底には性別に関する思い込み、すなわちアンコンシャス・バイアスも深く関わっています。「男性はこうあるべき」「女性はこうあるべき」といった固定観念が、能力開発やキャリア形成の機会に影響する可能性もあります。

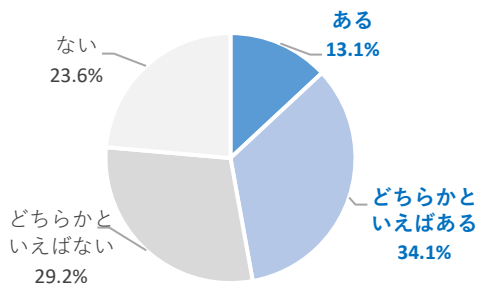


Q 「ジェンダー・ギャップ」という言葉を知っていましたか。



令和7年度「アンコンシャスバイアス・ジェンダーギャップアンケートより」 (n=1,262人)

Q あなたが身近でジェンダー・ギャップを感じる機会がありますか。



令和7年度「アンコンシャスバイアス・ジェンダーギャップアンケートより」 (n=1,262人)

言葉を知っているかどうかについて、知っていたと回答した方は「アンコンシャ・スバイアス」15.3%、「ジェンダー・ギャップ」64.5%と、大きな差がありました。

「ジェンダー・ギャップ」についての認識は広がっていても、「ジェンダー・ギャップを感じる機会がある」について、半数近くが「ある」「どちらかといえばある」と回答しています。根底にはまだまだ固定観念があるのかもしれません。

### まだまだあるかも！？ジェンダーギャップ

- ・重いものは男性が持つ
- ・女性が楽な仕事になっている
- ・お茶出しは女性の仕事という意識
- ・家事は女性がやるものと言われた
- ・雑用や飲み会の準備は事務・総務の仕事
- ・男性が営業・渉外担当、女性は後方事務担当という認識が根強い
- ・男性が育児休暇をとったり育児と両立するためのリモートワークがあまり進んでないように感じる



働き方改革コンサルタントより：

左のような声は、職場に根強く残るアンコンシャス・バイアス（特にジェンダー・ギャップ）の表れと言えます。これらは仕事の機会の不均衡や従業員エンゲージメントの低下を招く要因となります。社員一人ひとりの事情を理解し、その多様性を活かす姿勢こそが、組織全体のパフォーマンス向上と、誰もが働きやすい環境を築く鍵となります！

### One POINT

日常会話での「ちょっとした気づき」が、チームの中で、より公平で心地よい環境づくりにつながります。気になる場面があれば考えてみましょう！身近なところで“それって偏見かも？”と感じる場面があるかどうか、みなさんの声を集めています。ぜひアンケートにご協力ください！



アンケート回答  
フォームはこちら



ジョブカフェいわて/いわて働き方改革サポートデスク

〒020-0024 盛岡市菜園1-12-18 盛岡菜園センタービル5階

ジョブカフェいわては、岩手県が運営している若者のしごと・就職のサポート施設です。

2025年12月発行